

kWhモニタリング（対象期間:11/29～1/15）の結果

- 今後、平年並で需要が推移すると、kWh余力は1月4日に最小となる見込み。その値は**10,639百万kWh**であり、これは、対象期間の平均電力消費量の**約4日分**に相当。
- 厳気象ベースで需要が推移すると、kWh余力は、1月4日に**8,544百万kWh**となる見込み。これは、対象期間の平均電力消費量の**約3日分**に相当。
- 現時点で燃料在庫の観点からはひっ迫の恐れはないが、需要の増加や、原発・石炭発電等のベースロード電源の計画外停止によって状況が変化する能性があり、今冬を通して動向を注視していく。

[百万kWh]

